

碩心

題字は松井岳洋筆

No.379

平成18年9月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会認可

神奈川 碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206

Tel/Fax.046-875-3723

今までそして、これから

広報 磯村岳朋

自分の年齢が還暦に近付くに連れ、今まで
のことを、振り返りこれからのことを考える
ようになりました。一概に運が良いとか悪い
とか言いますが、人間の一生を平均すると皆
同じではないかなと、最近つくづく思います。
他人を羨やむのではなく、自分で努力して己
の足りない部分を補って行くそんな人になり
たい。詩吟も同じで、始めから上手な人は少
ないと思います。成長の早い遅いはあっても、
稽古を沢山した人、出来なかった人の差は第
三者でも分かれます。

私は、才能がなかったので大変苦労しまし
た。何度も止めようと思いましたが、その度
母に叱咤激励され、乗り越えて来ました。今
は続けていて良かった、と思える領域に入り
つつあります。吟が楽しくなったら一人前か
な？そんな日に向かって、「一吟二百回」を
目標にしています。吟はストレス発散の場所

と思っていたら、ストレスの原因でした。自
分の吟をテープで聞くと、本当にがっかりし
ます。だから一生勉強なのでしょう。

長く続けられたことで、多くのものを得ま
した。年代の違う友達、素晴らしい恩師や先
輩、何も知らず不器用な私が、「努力をする
事を覚え、我慢する事を知り、人の評価を素
直に聞ける」こんな心境に至りました。

省みれば、幸せな事ばかりでした。健康で
自由に詩吟が出来る環境があり、吟友にも恵
まれて、何より出会った先生が立派な方々ば
かりで、目指す的まねになっています。

これからは、その的に向かって一心不乱に
突き進みたいと思います。まだまだ青二才の
私ですが、人間として納得の行く後年を過ご
せたら、吟にも深みが出て来るのでしょうか。
もつともつと詩吟を好きになって、元気で、
楽しく、肩の力を抜いて、一生付き合えたら
嬉しいなと思っています。



行事予定

碩心会秋季審査会

日時・9月16日(土) 9時半受付

場所・葉山町福祉文化会館会議室

鎌倉市詩吟舞連盟大会

日時・10月8日(日) 9時半受付

場所・レイ・ウエル鎌倉3階ホール

紫舟会45周年記念吟剣詩舞道大会

日時・10月21日(土)

場所・逗子市文化プラザなぎさホール

横須賀第二地区吟道大会

日時・10月22日(日) 9時受付

場所・葉山町福祉文化会館ホール

逗子詩吟舞連盟大会

日時・11月3日(祝金)

場所・逗子市文化プラザなぎさホール

逗子大船地区温習会

日時・11月23日(祝木) 9時半受付

場所・葉山町福祉文化会館ホール

碩心会皆伝会

日時・12月10日(日)

場所・葉山町福祉文化会館会議室

冠稱が贈られました (平成18年7月1日付)

宗佑

白井岳麗

笠原岳珠

矢沢岳峰

荒木岳笙

木村岳茅

佐久間岳爽

立澤岳晴

第九回碩心会夏季吟道講座を受講

唐木山支部 広瀬晴岳

7月22日葉山福祉文化会館で碩心会の夏季吟道講座が開かれ、百十一名の方が受講されました。私も受講生の一人として参加させて頂き5人の講師の先生方の講義を一日じつくりと受講させて頂きました。

先生方が分かりやすく丁寧に熱心に講義を下されるのを一言一句洩らさず聞き止めよ



講師先生方々の順番待ちのひととき

うと懸命に耳を傾けメモを取るのですが、私には難聴（現役時代の職場における環境と年令による）がある故にいついつ聞き洩らす事が何度かありました。耳が遠いためか声が馬鹿大きく合吟の際には廻りの皆さんに迷惑をかけたのではないかと反省しております。

来年度はどの様な講座が開かれるのか楽しみにしております。

総本部講習について受けた印象

千葉 岳 関

毎年、総本部の夏季講習を私の夏バテ予防健康法の一環として参加してきた。こ、数年は応用篇に参加し、本年は教場に新入生が入ったのを機に基礎講座に参加した。講師はベテラン揃いで眠気も出ず大半のメモがとれた。大原則は腹式呼吸による正しい発音アクセントの活用である。勿論流統の根本である二句三息は当然である。

私が長く記憶にとどめたいことを記したい。それは平吹理事長の講義で創立70周年を迎えたお話の中で（社団法人日本詩吟学院岳風会）とは学校法人との誤認をさける為に関係官庁との係わりで岳風会を付けたものと話された。このことは初耳であり私にとり新鮮な印象を持った。第2の印象は、本年が総本

部の70周年、来年は碩心会の70周年であるが本年75周年を迎えるところが二会もあると言う。それは長野県で岳風先生が学院創設前から係わった二つの会と言われ、これには全く驚いた。学院創設の周年大会は常に総本部の後碩心会は第二番目と自認していたので、こ、に認識を変える必要がある。

これとは別にもう一点再認識を必要とすることは、社団法人（公益法人）として常に現在会員だけではなく諸行事を全て一般に公開し社団法人としての公益性の認識を常に持つべきであることを今後私たちの向うべき目標を改めて示唆されたことを感じさせられた。

逗子・大池公園に東屋寄贈

あずまや
悠吟 千葉 岳 関

逗子市久木8丁目付近の大池公園に、素晴らしい休憩所を、悠吟支部の小野裕岳さんが去る8月22日の神奈川新聞（日刊）に掲載され、市当局へ寄付された。

休憩所が完成する直前小野裕岳さんから、休憩所の名称を「悠吟亭」と名付けたので、大いに活用して頂きたい旨を告げられた。

「悠吟」なる名称が寄贈された、公園の休憩所に残されるということは、誠に奇縁と申すべき事だろう。悠吟支部は、野外練吟の場として、おおいに活用したいものである。

去る7月30日(日)葉山フレームスに於て、新総伝の祝賀会が開催されました。

新総伝6名の方々から喜びと今後の抱負が寄せられました。

おめでとございます。

吟秀 加藤 岳 芳

諸先生方にご指導を戴きましたお陰様と、心より御礼を申し上げます。今後は健康に留意し、詩吟を楽しみつ、少なからず御恩返しが出来ますように、研鑽に努め、会の発展のために尽力致す所存でございますので、よろしく願います。

真澄 菊 池 岳 悠

今年の1月1日付で総伝を戴きました。振り返ってみますと、昭和53年9月より村田先生のもとでおけいこをさせていただいてから28年が経ちました。主人の病気等の事もありましたが、お陰様で続ける事が出来ました。今後ともよろしくお願い致します。

真澄 星 野 岳 輝

皆様から思いがけない程のお祝いのお言葉をいたゞき、身のひきしまる思いです。勉強不足もあつて未だ前途程遠しの感があります。心が新一層楽しく詩吟を学んで行き度いと存じます。

平成18年新総伝祝賀会

一色 伊藤 岳 光

この度総伝を頂戴し、今日迄ご指導下さった先生方、吟友の皆様にご心より感謝申し上げます。最近詩舞の振付けを考える様になります。詩吟には不思議な力があると思う様になりました。それは自分の中の何かを引き出してくれる気がいたします。想像力、創作意欲が更に湧いてまいります。今後、吟舞に襟を正して対峙して行けたらと願っています。

相洋 西岡 岳 清

入会した頃、総伝は雲の上の存在と思っていました。その総伝の認可を受け、身の引きしまる思いです。歩んできた道を振り返り、初心に戻り、吟道への精進の心を強くもち、一層の努力を誓いたいと思います。

相洋 加藤 岳 美

本日は会長をはじめ、常任理事、顧問、相談役の先生方が出席のもと、新総伝者のお祝いをしていただき、本当にありがとうございます。何事も永く続けるといふ事は大変ですが、思ってもいかなかった総伝をいただき今日まで休むことなく続けてこれた事に感慨一入と感じる次第です。これからも吟の道に精進し、碩心の発展の為に微力ながら頑張っていきたいと思っております。どうもありがとうございました。



平成18年新総伝祝賀会 (H18. 7. 30 葉山フレームス)
永年の努力の結果として、加藤会長を囲み嬉しそうな方々

わたしの雅号の由来



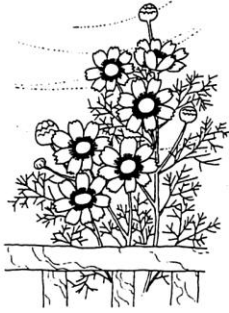
滝の坂 佐久間 岳 爽

秋を迎えると大気が澄み、爽やかさを感じます。俳句の季語に「秋爽・爽涼」とありますが心惹かれる季節です。

詩吟を志してから爽泉、爽山、爽岳と登れることを願って、大好きな爽の字を選びました。以来道遥かなりという思いに駆られつつ歩んで来ましたが、碩心会には尊敬申し上げる先輩が多くご健在なので吟道も、人生の在り方も学ばせていただいております。

葉山町の文化祭には滝の坂支部として、構成吟を組み一同で参加しておりますが、これも支部の皆様にご常温かく支えられているお陰と改めて感謝しております。

今回、はからずも総佑の冠稱を賜り、ありがとうございます。御礼申し上げます。



滝の坂 坂 上 醴 泉 (貞夫)

平成14年9月、岳風吟道の地元支部に入会、碩心会の半年毎の審査で16年3月、初伝の認許と共に、雅号を戴きました。初めての雅号であり自ら申告するという事で大分迷いましたが、本名は否応なくついて回りますが、号は自分で選べる利点を活かし、先ずは漢和辞典を繙き、下に泉の付く熟語から採りました。「醴泉」とは「存じの通り「甘い泉」のことですが、巖から湧き出るうまい泉水の如く、吟道にも精進を重ね、うまくなりたいと、また支部名になっている滝の坂は葉山古道の畔に在り、ここに滝の上から涸れることのない泉が今でも滾々と湧いているのです。「名は体を表す」といいますが、どうかこの様に褒められることのない声流をいつ迄もとの願いを込めて名付けました。

「醴」は甘酒のこと、支部の伝統行事に初日の出と共に国際村山頂にて初吟が行われます。この後、先生のご配慮で美味しい甘酒が振舞われ、冷えきった体を暖めてくれます。入会以来わたしも毎回参加しています。これも深き縁かな…

会員移動

入会
305 雑賀照子 逗子市久木8-19-13
(悠吟) 046-872-3909
紹介者 星野清山

退会
43 伊原岳松 (長柄)
273 新倉 勇 (相洋)
274 野田まき子 (相洋)
304 藤原 環 (相洋)



和歌 真澄 星野 岳輝

○かたかたと辛塔婆語らう故郷の墓に手向けし赤き鶴頭
○庭仕事負担となりてマレシヨレに移りし友の芙蓉咲き初む

編集後記

夏休みもあつと言う間に終わり、爽やかな秋を迎えました。行事も山積してきます。気候の変化に体調を崩さぬよう、それぞれの催しに楽しく元気に参加しましょう。碩心会の行事以外にも、皆さんお忙しい事でしょう。健康第一で有意義に過ごしましょう。

雅号の由来について、会員皆様からの寄稿を切にお待ち致しております。 広報部

18年	9月	現在	会 員 数
葉山	大地	地区	1 3 3 名
逗子	大船	地区	1 1 4 名
合 計			2 4 7 名